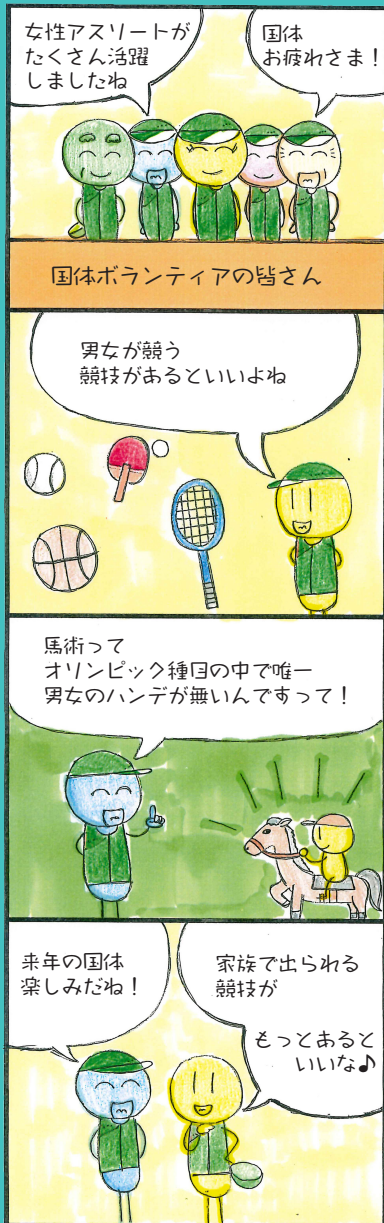


今回のテーマは、「家庭」です

「国体を終えて…」



作:miina 絵:daisuke

「みいな」バックナンバーはこちらをチェック!
「ウェブ版」最新号も見てね♪



第73回国民体育大会馬術競技会成年女子二段階障害飛越競技優勝の功績により、平成30年11月9日に市長特別賞を受賞している那須トレーニングファームの廣田思乃さんに、競技と家庭の両立などについて伺いました。



廣田思乃さんと夫の龍馬さん

家族構成は?

私(39歳)、夫(46歳)、息子(高2)の3人家族です。3人全員が現役の馬術競技の選手で、国体の栃木県代表でもあります。(9月6日取材時)

家庭の家事は、どのように男女共同で分担されていますか?

私が食事の用意、夫が洗濯と掃除を主にしています。共働きなので、できるときにできる人が動くようにしています。息子も自分のことは自分でやっています。

「競技」、「家庭」、「仕事」を両立するため、どのようなことに気を配っていますか?

今日は朝5時から朝食の用意、お弁当作りなどをして、6時からトレーニングをしました。馬の管理のため、一頭一頭のコンディションに合わせた餌の準備も私の仕事です。家事以外でも、できる人ができることをやるようにしています。そして、家族で競技生活を送れるのは、親族やスタッフの手助けがあってのことです。ネットワークをつくり、みんなで助け合えるようにしています。

競技を終えるタイミング、競技後の人生設計はどう考えていますか?

競技は馬に乗れる限りは続けたいです。社会福祉士の資格を持っています。市ホースガーデンで困難を抱える子どもたちを受け入れ、馬とのふれあい(ホースセラピー)によってその子どもたちが変わっていく様子を見るのがうれしく、馬に関わることを一生続けていきたいと思っています。



夫婦円満の秘訣は?

お互いを思いやることです。

競技のときは夫の龍馬さんが先生です。思乃さんが乗れない馬も龍馬さんは乗れるとのこと。お互いが尊敬し合っている姿が印象的でした。